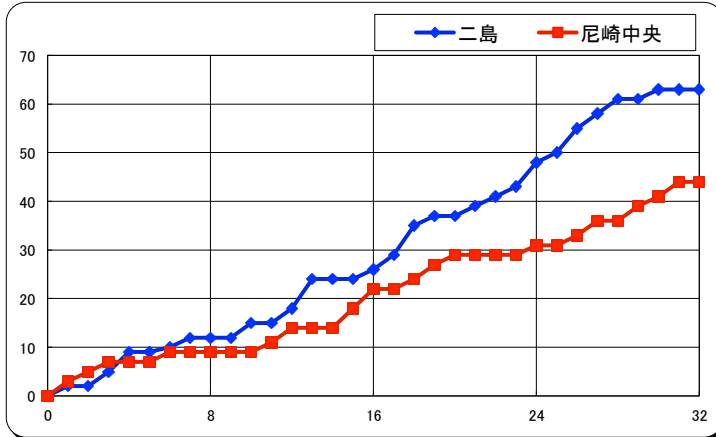




THE 44th ALL ALL JAPAN
Jr HIGH SCHOOL
BASKETBALL CHAMPIONSHIP

【得点経過】



大会名	平成26年度全国中学校体育大会 第44回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	丸亀市民体育館																
日時	平成26年8月24日(日) 9:00																
コート	Aコート	第1試合															
カテゴリー	女 決勝トーナメント																
主審	竹島 則夫	(高知)															
副審	高平 吉康	(宮城)															
Team A		Team B															
二島	63	44 尼崎中央															
福岡県		兵庫県															
○		●															
	<table border="1"> <tr><td>12</td><td>1st</td><td>9</td></tr> <tr><td>14</td><td>2nd</td><td>13</td></tr> <tr><td>22</td><td>3rd</td><td>9</td></tr> <tr><td>15</td><td>4th</td><td>13</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	12	1st	9	14	2nd	13	22	3rd	9	15	4th	13		OT		
12	1st	9															
14	2nd	13															
22	3rd	9															
15	4th	13															
	OT																

【BOXスコア】

Team A		二島					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	木多良 菜々	✓	0	0	0	0	0
5	小柳 亜結	DNP	0	0	0	0	0
6	力武 旦	DNP	0	0	0	0	0
7	中村 夏菜	✓	0	0	0	0	0
8	清水 利祐子	×	8	0	4	0	3
9	篠原 愛佳	×	21	0	9	3	1
10	首藤 祐希	✓	0	0	0	0	0
11	森尾 菜々美	✓	0	0	0	0	0
12	池下 桃佳	✓	0	0	0	0	0
13	今瀬 まやの	✓	0	0	0	0	0
14	樺島 ほたる	×	10	2	1	2	0
15	矢野 聖華	×	12	4	0	0	0
16	四宮 萌夏	✓	0	0	0	0	0
17	梶原 志保	×	12	4	0	0	2
18	森尾 萌乃花	DNP	0	0	0	0	0
監督	山崎 修						0
コーチ	唐嶋 裕美						0
合	計		63	10	14	5	6

Team B		尼崎中央					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	神田 奈緒	×	0	0	0	0	3
5	永山 莉央	×	3	1	0	0	2
6	南村 瑠華	✓	0	0	0	0	0
7	石丸 菜華	×	2	0	1	0	2
8	染川 真生	✓	0	0	0	0	0
9	鳥養 茉那	×	16	4	2	0	4
10	樋口 里衣奈	×	19	1	7	2	1
11	逢坂 妃向	DNP	0	0	0	0	0
12	梅村 なるみ	DNP	0	0	0	0	0
13	前西 咲希	DNP	0	0	0	0	0
14	糸数 虹穂	✓	4	0	2	0	1
15	橋本 瑞希	DNP	0	0	0	0	0
16	海野 志歩	DNP	0	0	0	0	0
17	山口 櫻子	DNP	0	0	0	0	0
18	進 琴海	DNP	0	0	0	0	0
監督	松本 康久						0
コーチ	上曾山 紗世						0
合	計		44	6	12	2	13

【戦評】

決勝トーナメント1回戦は九州ブロック代表二島と近畿ブロック代表尼崎中央の対戦。二島はオールコートマンツーマン、尼崎はハーフマンツーマンでスタート。二島#9のドライブで先制。尼崎も#9の3Pで返す。一進一退のゲーム展開の中、残り2分、尼崎が3点リードされた時点でタイムアウト。しかし流れに変化なく、二島12-9尼崎の3点差で1Q終了。2Qは互いにDefを崩せないなか、二島#17の3Pが決まり5点差、尼崎も#9のミドルシュートで久々の得点。残り3分あたりから尼崎は二島の厳しいDefによりスチールされることが多くなりじわじわと点差が広がる中、尼崎#10がゴール下で踏んばり、二島26-22尼崎で前半を終える。

3Q、二島ボールでスタート。#15、17、14の三連続3Pでリードを広げる。尼崎も#9の3Pで応戦するも二島はOffリバウンドをも支配。二島48-31尼崎で3Q終了。4Q、二島は速いパス回しから3Pがよく決まり一気にリードを広げる。尼崎は#10のポストプレーやブロックショットで対抗するも点差は詰まらず、残り4分25点となる。終盤、尼崎はオールコートDefであったり、善戦するも、二島のスピード、高さ、厳しいDefを崩すには至らず、二島63-44尼崎でゲームを終える。

【戦評記者】

藤原 正徳